

第2章 国土交通省淀川河川事務所へのヒアリング調査

本章では、現在の淀川水系の河川環境保全の現状について、淀川の河川管理を担っている国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所河川環境課でのインタビュー調査をまとめたものを記す。

淀川は、琵琶湖の南端から流出し、滋賀県・京都府・大阪府を流れ大阪湾に注ぐ琵琶湖の唯一の自然状態での排水河川で、全長 75km、流域面積 8528 平方 km の川である。琵琶湖から流れ出した瀬田川は滋賀県大津市南部の山間に峡谷を刻んで南下し京都府に入り、宇治川と名前を変える。この峡谷部には天ヶ瀬ダムがあり、洪水調節と発電を行っている。宇治市で平野に出た宇治川は、京都・大阪府境の山崎の狭隘部で桂川・木津川の大支流をあわせて淀川となり、大阪府北部を南西に貫き大阪湾に注いでいる。

淀川は古来より灌漑・舟運・飲料水に広く利用されてきた集水域の広い川で、支川を辿ると奈良県や三重県にも及び流域は近畿の 1/4 を占める大河川である。

なお、このインタビューは国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所管理課の長谷川稔氏と、田村くに江氏に行ったものである（所属はいずれも当時）。

1. かつての淀川の姿

長谷川さんが子供の頃、実際に淀川に行かれたりした時に、汚いという印象や、ゴミがたくさんある、という印象はありましたか。

長谷川 私は、大阪商業大学の近くで生まれたので、実は子供の頃は、淀川まで遊びに来ていません。ですが、近くにある第二寝屋川¹などは、ものすごく汚かった。昭和 30 年代終わり頃ですが、ヘドロなどがいっぱいありました。今見ると本当に綺麗になりましたね。

昔と比べて、今の淀川はどうですか。

長谷川 昔は、本当にその黒いヘドロが溜まっているのを、よく見かけたことがありましたね。最近ではあまり見かけません。

昔と比べると淀川のイメージとしては、がらりと変わったというイメージなのですかね？

長谷川 はい、淀川もきっと改善はされているかとは思いますが。ちょうど私の子供の頃が一番悪い時代で、ちょうどあの頃に公害対策やルールできてきたのです。

2. 淀川の現状

¹大阪府東南部を流れる、寝屋川の支流。旧大和川筋の諸流を集める。近年に開削された運河で、一級河川の起点は八尾市池島町と東大阪市玉串町東境の、恩智川からの分岐点。

川のゴミの発生源は何でしょう。

長谷川 おそらく、多くはその場所に持ってきて捨てられたのではなく、流れてきたものがほとんどです。特に川の中に木があったら、ビニール袋とか引っかかっていますよね。

河川のゴミ問題のなかでも、一番困っていることというのは何でしょう。

長谷川 不法投棄ですね。やっぱり漂着ゴミも出てきますし。あと、なかなか難しい問題ですけど、(河川敷の)中に住んでらっしゃる方もおられるので、そこもゴミの発生源のひとつになっているのじゃないでしょうか。それを解決するには一筋縄には行かなくて、自治体との連携が必要です。

ホームレスの問題というのも最近の傾向でしょうか。

長谷川 経済情勢によって、景気のいいときにはある程度減っているという話は聞きます。ただ、少し前まで、こうした状況はきちんと把握できておらず、最近になってきちんと見始めているところです。

漂着ごみについては、毛馬²で引っかかるゴミに関しては回収されているのでしょうか。

長谷川 いえ、寝屋川導水路です。寝屋川導水路³は比較的水量が少ないので淀川の水を取って入れています。その水を入れる時にはもちろんそのゴミは取っています。川から入る時もスクリーンがあって、川に入れる時もスクリーンがあって、そのわずか1kmあまりの区間で、ゴミが大量に捨てられています。どこの人が捨てているのか、というはわからないのですが。

淀川の近隣住民の方から、ゴミの苦情はあるのでしょうか。

長谷川 きちんとまとめきれてはいないのですが、ゴミが出ているという苦情はあります。例えば、よくある話では、川の中にゴミがあるということを知ります。河川の公園があって、人間のマナーの問題なのですが、ゴミをちゃんと自分で処理するところに持っていけばいいのに、川に誰かがポンと1つゴミを捨てたら、次の人がまた捨てて、ということが続き、公園の管理事務所や私たち管理者に何とかして欲しい、というご意見はよくあります。川沿いの道路の管理業務とあわせて何とかしようにも難しいところもありますし、ちゃんと持って帰って下さい、という広報活動をしてはいるのですが、なかなか皆さんきちんとしてくれない。ただ、長いスパンで見たときに、ゴミが増えているか減っているか、については多少は減っているのではないのでしょうか。昔の川って、本当ゴミ捨て場みたいなのところもありました。そういう感覚が今もなくならず、余計に川はゴミが多かったのですが、そういう点では多少は良くなっているという感覚はあります。

関東の方では、河川敷でのバーベキューを禁止しているところもありますが、淀川ではどのような対策をお考えですか。

² 毛馬水門(けますいもん)のこと。毛馬水門は、大阪府大阪市北区にある淀川と旧淀川(大川)を隔てる水門であり、大川に流れる水量を調整する役目と同時に、淀川と大川の水位差により困難となる船舶の通過をスムーズにさせるための設備である閘門、および大川の水を強制排水するための機能を備えている。

³ 大阪府枚方市。普段は淀川から取水し、寝屋川の浄化を行っている。大雨の際には寝屋川上流域の洪水を太間排水機場まで導き、洪水防止を行っている。

長谷川 基本的に、川ではゴミは持って帰ってもらいます。だからゴミ箱は置いていません。淀川の河川敷には、公園と公園でない原っぱがありますが、原っぱにおいてバーベキューをしてはいけないっていうのはないです。よく近くの家にはバーベキューの煙や匂いが、という苦情はありますが、禁止といった話までにはまだ至ってはいないですね。公園区域では、バーベキューをして良い場所とダメな場所を区分けしていることがあります。

ゴミ箱を設置しないことで、悪いことは起きていませんか。

長谷川 公園の中ではルールに基づいて利用してくださいと言うことになっています。

田村 公園のような管理されているところではそれほどありませんが、ただワンドに釣り糸や自転車、バイクなどが放り投げこまれていたり、といったことは目立ちます。バーベキューに関して言えば、それほど酷い状況というのはありません。だから、ある程度ゴミ箱は設置していますが、基本的には持って帰ってもらっています。

3. 外来生物による環境破壊

淀川でも外来生物は問題となっていますか。

田村 川の中でいえば、ウォーターレタスやボタンウキクサといった水生植物が最近では問題になっています。最後まで、自分のところで面倒をみるのではなく増えたから捨てるとかいうような形で、カメなども、何でもそうですね、川に「捨てる」というのは。自分からは殺さなくて済む、そういった形で、良かれ思って捨てたのかもしれないかもしれませんが、やはり生き物ですから増えます。特に外来種は、元々住んでいた生き物を駆逐したりと、問題を引き起こします。魚でいえばブルーギルやオオクチバスが有名ですね。意図的に釣りの人達が、楽しむために放すということもあるでしょう。かつて単にゴミ捨て場的なもので川にというのがあったのですが、不法投棄のようなものとは別に新たな問題として、無責任であるとい点では共通していますが、よりやっかいなものが捨てられているということが河川環境の面からは問題になっています。我々も出前講座などを行っていますが、やはり生き物は最後まで飼ってほしい、もう飼えないからと安易に捨てないでほしい、と思っています。

ニュースでアリゲーターガーだったでしょうか、海外の生物を見たことあるのですが、淀川でもそういうものが放されていて、駆除するということはあるのですか。

田村 特定外来生物法⁴という法律が出来たのが平成 17 年ですが、それ以前の平成 16 年に高槻出張所でカミツキガメが見つけれられました。その当時はまだ特定外来生物ではなかったため、生きたまま移動できましたので、自分たちで捕まえていました。あと、特定外来生物ではないのですが、噛みつかれたら危険なワニガメが相当数、下流で見つかっています。

⁴「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」のこと。外来生物の規制および防除に関する法律である。2005 年（平成 17 年）6 月 1 日に施行された。

す。数ヶ月前にも毛馬出張所で 50 センチほどのワニガメが見つかり、その時は保健所に通報して保健所職員 3 人がかりで捕まえました。ワニガメは首がそんなに伸びないので後ろからで簡単に捕まえられます。特に大阪市内では河川敷がよく利用されますし、子供たちもいますから、明らかに自分たちの手に負えないものを川に捨ててどうしようというのでしょうか。我々から探して駆除というのはしていませんが、見つけれられたものを通報して駆除しています。夜店などで売られていたミドリガメ（ミシシippアカミミガメ）、これも大きくなってしまいます。特定外来生物ではないのですが、これがいっぱい捨てられていますね。これに関しては死ぬまでちゃんと飼ってくださって訴えたいものの 1 つですね。

ヌートリアは、淀川にもいるのですか。

田村 ヌートリアに関しては、元々戦時中に軍用の毛皮として使われるために輸入され、岡山から移されたものが戦争が終わって用無しになって捨てられてしまい、それが増えています。淀川でも数十匹はいると思います。

兵庫の川でもヌートリアが大きな問題になっています。夜になったら出てくるそうですね。

田村 そうですね、元々、夜行性の動物です。これも可愛いと言って、餌付けされているのですよ。なので、増やしているのは人間なのですが、農作物を荒らしてしまうので駆除しています。野良猫と一緒に、無責任に餌をあたえたりすると、それが大きな問題になります。また、ヌートリアは堤防に棲みかを作ってしまう。そうすると、いざ水が増えた時そこが弱点になってしまう可能性もあるので、治水面からもヌートリアはいいとは言えません。我々は、皆様の安全を守らなくてはいけないので、そうなれば駆除をしなければいけません。けれど、生き物なので心が痛みます。別にヌートリアも日本に来たくて来た訳ではなく、人間に勝手に連れてこられて、それで殺される、というのは間違っていると思います。

4. 淀川の水質

水質に関する法律はいつ出来ましたか。

田村 昭和 33 年に水質保全法が制定されましたが、これが水質に関する初めて出来た法律です。水質保全法が出来たので、それに順じて淀川としても箇所は少ないですが水質測定を始めました。昭和 45 年に、いわゆる公害国会⁵でいろんな事が決められたのですが、そのなかで環境基準地点として枚方も指定されています。河川については BOD⁶、琵琶湖のよ

⁵ 1970 年 11 月末に開かれた臨時国会（第 64 回国会）は、当時の公害対策を求める世論、社会的関心の高さにこたえて公害問題に関する集中的な討議が行われたことから「公害国会」と呼ばれた。政府は、全国各地で問題化していた公害への対処には公害関係法制の抜本的整備が必要と認識し、公害対策基本法改正案をはじめとする公害関係 14 法案を提出し、そのすべてが可決成立した。

⁶ Biochemical Oxygen Demand（生物化学的酸素要求量）の略。河川水や工場排水中の汚染物質（有機物）

うな湖沼はCOD⁷という項目などで、環境基準がみたされているかどうかを判断します。

昭和 33 年の水質保全法が、河川に目を向ける最初のきっかけになったということですか。

田村 そうですね。ただ、私たちが測定を始めたのはそれ以前のことで、河川法にもとづいて「流水の清潔の保持」という立場から水質の監視をしていました。これは、利水からんでゴミの問題もあっただけではなく、水道用水として有毒なものではないか、ということもありました。ちなみに、河川法は明治 29 年に旧法であるが出来ています。平成 9 年には大きく改正され、河川管理の目的のいわゆる 3 本柱として「治水」「利水」そして「環境」が定められました。我々は税金を使って水質を測っているのですが、それはこうした法的根拠に基づいてやっているのです。

臭いや水の色といった現在の状況は、データを確認することで分かるのですか。

田村 一応、水質試験は採水時に、まず外観という項目で水の色を見ます。それから臭いですね。無臭とか人工臭、ゴミの臭い、下水臭、薬品臭というのがあり⁸、昭和 33 年からの水質年表などに掲載されています。

実際に水質を目で確認するとなるとどうですか。

田村 2 つの水質を見比べてどちらが綺麗ですか、と聞かれたら、見た目の綺麗、透明感がある方がきれいだと言う人が多いと思います。しかし、水質は見た目だけでは分からないんです。例えば、普通は上流部の支流のほうが水はきれいですが、都会を流れる川、たとえば淀川本川と淀川に流れ込む支川を比べると、水量の多い本川のほうが綺麗な場合が多いのです。なぜなら、都会では生活用水などの排水が支川から本川に流れ込んできます。しかし流入してくる支川の方が水深が浅いこともあって、透明感があると感じる人が多く、その一方で、本川はゴミがたくさん目につく。そういうような見方で、綺麗、汚いと決められるものではありません。

工場の污水が垂れ流されているということもあるのでしょうか。

田村 工場もありますけども、より問題なのは下水です。大阪市内は太閤秀吉の時代から下水というのが作られていたくらいなのですが、他のところは皆、即垂れ流しで川に捨てていたので、水質に与える影響は大きいと思います。現在でも大和川の方では、下水の整備が進んでおらず、家庭 1 軒 1 軒がなるべく、たとえば油でもちゃんと拭き取って排水口に流さないだとか、牛乳なんかも流さない、そういうことが重要です。

が微生物によって無機化あるいはガス化されるときに必要とされる酸素量のことで、この数値が大きくなるほど、水質汚濁が進んでいるとされる。

⁷ Chemical Oxygen Demand（化学的酸素要求量）の略。海水や河川の有機汚濁物質等による汚れの度合いを示す数値で、水中の有機物等汚染源となる物質を通常、過マンガン酸カリウム等の酸化剤で酸化するときに消費される酸素量を表す。数値が高いほど水中の汚染物質の量も多いことを意味する。

⁸ 臭気には、大分類として（1）芳香性臭気、（2）植物性臭気、（3）土臭・かび臭、（4）魚貝臭、（5）薬品性臭気、（6）金属性臭気、（7）腐敗性臭気、（8）不快臭があり、さらにそれぞれについて細かな分類が定められている。これらの臭気については、現地測定では臭気の種類のみ（採水直後そのままの水:冷時臭）が測定されるが、より詳細な試験を行う室内分析では試料を約 40℃に暖めて、臭気の種類のほか臭気の強さ（TON : threshold odor number）も判定される。

5. ボランティアによる河川清掃

現在行われているボランティアの形について教えてください。

長谷川 ゴミをボランティアのみなさんが清掃するにあたっては、サポート制度も出ています。これは、ある 1 つの団体がここの地域を清掃します、という形で認定を受け、サポーターとして河川清掃を行っていただいています。一方で河川管理者は、ゴミ袋を支給したり、集まったゴミを回収したり、というようなことをしています。この制度はスタートしてからちょうど 1 年くらいになるのですが、淀川河川事務所管内では現在 6 団体が認定を受けています。

ということは、まだまだ淀川全域をカバーできる体制というのにはできていないのですね。

長谷川 まだまだです。ただそういうのは河川事務所を確認出来ている人達であって、実は我々も把握できていない人達があるものすごくいらっしゃるようです。ある出張所の係長に聞いた話なのですが、その管内にいつ行っても全くゴミが落ちていない堤防があるのです。毎日きちんと掃除して下さっている方があるようです。あとは、河川レンジャー⁹や自治会のボランティア活動のゴミはこちらで処分する形をとっています。

こうした活動には企業も参加されているのですよね。

長谷川 企業も最近では CSR¹⁰の観点から地域貢献が盛んに行われています。以前行ったワンド¹¹のクリーン作戦にも来ていただいていたいました。

田村 現在、3 社ほど参加いただいていたいました。あと 2 社くらいも聞いています。河川敷は歩けるところは綺麗ですよ。

長谷川 ただ、人の入りにくいところには結構ゴミがあります。外からはなかなか見えません。人が行かないし、我々もそこまで行かないし、空からでもわからないです。

2010 年には 1 年間で何回くらい清掃回数があって、どれくらいの人で、どれだけゴミが回収され、処分のコストはどれくらいであったのか教えてください。

長谷川 いろんなボランティア・グループが清掃活動に取り組んでいただいています。大学とか、NPO、労働組合とか、漁協の組合とか、潜水の連盟なんてものもありますね。「〇〇を美しくする会」とか、そういうところが、多くは年に 1 回、時折月 1 回というところもありますが、そうした形で実施されています。ただこれも我々が把握している分だけです。どれだけゴミが回収されたといったことは分からない部分が多く、参加人数も同様です。また、こうした活動には、名の挙がらないおじさんやおばさんも多くいらっしゃる

⁹ 河川レンジャーとは、住民と行政が一緒になって川の管理や整備を行うため、住民と行政との間に立って、行政が責任を持たなければならないこと以外で、危険を伴わない河川管理上の役割を担う人や団体（団体に属する個人を特定）のこと。淀川水系流域委員会の提言を受け、平成 15 年に住民等の参加による河川管理推進のため、法令に基づき一定の権限と義務を付与した「河川レンジャー制度」が、河川整備計画に位置づけられた。淀川河川事務所管内では、30 名が任命されている（平成 23 年 3 月現在）。

¹⁰ 企業の社会的責任（Corporate Social Responsibility）。CSR は、持続可能な社会を目指すために企業も責任を持つべきであるという考えのもとに成立した概念

¹¹ ワンドとは、川の本川とつながっている水が淀むところ。希少生物の宝庫でもある。

います。そういう風にして一定の環境は保持はされていますが、残念ながら人間がなかなか行けないところにはいっぱい残っているのが現実です。

淀川の河川レンジャーの詳細についてお聞きしたいのが。

長谷川 河川レンジャーの位置づけは、河川の管理者と地域の住民がいて、河川の管理者が事業をすることと、住民の人とのパイプ役と位置づけています。河川レンジャーの人は、川ってこんなのだよっていうことを、一般の人を募って、野鳥を見る会だとか、川ってこんな遊びができるよだとか、こんな危ないところだけこんな遊び方があるよだとかを独自に考えて活動されています。だれでも河川レンジャーになれる訳ではなく、この地区にはだいたいこの人数、というのを河川管理者が想定し、公募します。応募いただいた方の中から、この人なら河川レンジャーとして任せられる、というのを判断してレンジャーの認定をします。

田村 例えば、河川レンジャーさんが主体となったゴミ拾いを行い、そしてゴミを拾ったあとに必ずそこで、野鳥観察などをします。私たち淀川河川事務所が年に1度行うワンドでのゴミ拾いをした時には、やはり1年前、2年前のものが出てきて、腐らず残っているだとか、こういうものがあれば魚にとってどういう被害がでるかだとかを、単にゴミを拾うだけでなく教えてもらっています。参加された方も、ゴミを拾うだけでなくそういう河川の環境の勉強することによって、他の生き物たちも住みやすくなるのだということを学べるので、とてもいいことではないかと思います。

長谷川 いろいろなことを関連づけていくことがいいのかもしれませんが。ゴミ問題はいろんな問題と関連している、ということをごみを拾った人達が理解する、ということです。

田村 元々は、河川整備計画を考える中で、今は滋賀県の知事になっている嘉田さん¹²が、河川レンジャーという名前が良いところから議論を始めたのですが、その時に嘉田さんは単なるゴミ拾いの先導役だけではなく、拾った後にちゃんと説明など行い単に拾っただけにしないでください、とおっしゃっていました。そういう精神を理解していただいている方が、河川レンジャーをされていると私も思っています。河川レンジャーは、まず、河川に関心を持ってもらうということが任務ではないかな、と私は考えています。単にゴミを拾うだけでなく、いろんな川の生き物だとか、とにかく人を川に近づけようという努力が見えてきます。やはり無関心っていうのが一番怖いと思います。川に目を向けてもらおうと、そこから色々なことがどんどん深まっていくでしょう。私たち河川事務所の主催だと、どうしても押し付けがましくなってしまうから、そこが河川レンジャー制度を作ったひとつの大きなポイントです。河川レンジャーは地域を愛しています、ハートが違いますね。琵琶湖の西の湖¹³という場所でお米を作られている、まちの電気屋さんだった

¹² 嘉田由紀子氏。京都精華大学教授を経て2006年より滋賀県知事。平成13年から18年まで、淀川水系流域委員会委員をつとめた。

¹³ 滋賀県安土町から近江八幡市に跨る内湖。近江八幡から安土にかけての広大な農地の中にある。流入する河川はほぼ南から、流出する河川は放水路の長命寺川が主。かつては近接して安土内湖等があったが、現在は西の湖を残し干拓されている。往時の安土水郷の情景は西端の園地に色濃く残っていて、水郷めぐり

方が、川が昔の川はこんなに汚くなかったと愕然として、1週間に1回ロープを張って清掃活動をされています。最初は2人ほどだったのですが、どんどん増えていっているということです。そういうふうに継続してやっついていかないと、ゴミが全く落ちていないという環境は生み出せないのです。

6. まとめ

今回のインタビューでわかったことは、河川が以前よりも少しずつだが綺麗になっていることであった。しかし、問題は山積しており、それを解決するための法律や河川事務所の組織が十分に機能しているとはいえないのもまた事実である。お2人へのインタビューでは、それでもなんとかしたいという気持ちが強く感じられた。

一番強くおっしゃっていたことは、人々の意識を変えるということが河川環境を守るために最も重要なことだということである。人々の意識を変えない限り、ゴミは完全にはなくならず、淀川が綺麗な川だとは言ってもらえないだろう。

私たちは、今回のインタビューでそれを強く感じた。私たちもこのままでは駄目だと痛感した。まずは周りから少しずつでも意識を変えていき、河川環境を良くしていきたいと思う。